

エリア・ブロック研修会について

令和4年度のエリア・ブロック研修会が各エリア・ブロックで実施されました。エリア・ブロック研修会は、各エリア・ブロックの研修委員の先生方とエリア長の先生で企画・運営する研修です。上伊那・諏訪ブロック、東信エリア、中信エリア、伊那・飯田ブロックでは、講師に佐藤いずみ先生をお招きして、「新聞紙工作とコミュニケーション」という内容で研修を実施しました。北信エリアでは、講師に遠藤恵委子先生をお招きし、「明日から使える幼児期のわらべうた」という内容で研修を実施しました。参加された先生方からは、「明日からの保育に生かせる内容で、とても参考になりました。」「コロナのため、他園の先生方とお会いする機会がほとんど無く、物足りなさを感じていました。実際集まって行う研修の良さを再認識しました。」との声が聞かれました。下に、佐藤先生、遠藤先生の研修の様子をまとめましたので、参考にしてください。

<佐藤いずみ先生の研修>



新聞紙で、きのこ・ダンゴムシ・くわがた・ドーナツ・サメ・タコをどう作るか佐藤先生よりレクチャーいただき、実際にきのこやドーナツなどを制作しました。講師の佐藤先生からは、
◎みんなで同じ題材で作っても、1つとして同じものはできないし個性が出る。



できあがった「きのこ」

必ず「できたね」と認めてあげることが大切。

◎自分で思った事を新聞で表現する。子どもが興味・関心を持っているものを作らせるとよい。子どもの発見や、子どもの意見を取り入れていく事が大切。工作をしながらの子どもとの会話で子どもを知る事が出来る。作品の出来、不出来ではなく、子どもの個性を光らせることを目的にする。

◎子どもの性質をよく見ながら、“色を探すチーム” “貼るチーム” など役割を分担しても良い。

とのアドバイスをいただきました。

<遠藤恵委子先生の研修>

最初に「わらべうたの種類や特徴」「わらべうたのよさ」「わらべうたを園でするときの注意点」についてお話いただきました。それから、先生からわらべうたを紹介していただき、実際に参加者で行いました。

◎わらべうたには、あやうた、聞かせうた、あそびうたの3種類がある。

◎わらべうたの良さは、①日本の自然や行事に親しめる②子ども同士の社会性を遊びながら学べる③リズム感覚や運動能力を高められる④ことばや数に親しめる⑤メロディーが単純で歌いやすい⑥人との信頼関係も感じていける⑦自分の声と身体があれば、いつでも、どこでもでき、大人も穏やかな気持ちになれる

◎園で活用するときは、園の先生方と、音程や基本的な遊び方を合わせておきたい。無理に全員でやろうとせず、何人かの子どもが始めて、その輪が広がっていくようにする。

以下に、先生より紹介いただいた、わらべうたのいくつかを載せてみました。ご存じのものもあるかと思えます。お読みいただき、子ども達と一緒に楽しんでみてください。(楽譜については、著作権の関係で掲載

できません。参考文献を最後に載せましたので、興味のある先生は参考にさせていただけたらと思います)



*季節のわらべうた

◆うさぎ うさぎ

うさぎ うさぎ なぜみみなげ
やまのこともききてえし
さとのこともききてえし
それで見みなげ

*集団で楽しめるもの

◆こんこんさん

みんな：こんこんさんあそびましょ
鬼：いま ねてます
みんな：こんこんさんあそびましょ
鬼：いま かおあらってます
みんな：こんこんさんあそびましょ
鬼：いま ごはんたべてます
みんな：なんのおかずで？
鬼：へびの いきたん
みんな：逃げる（「へびのいきたん」と言われた時だけ逃げます）

*2人で楽しめるもの

◆いもやのおっちゃん

いもやのおっちゃん いもきって
たたいて つねって まっくろけ
かいだんのぼって おりてきて
したからのぼって
こちょこちょこちょ～

*かぞえうた

◆ひとつひばちで

ひとつ ひばちで やいたもち
ふたつ ふくふく ふくれもち
みつつ みごとな かざりもち
よつつ よごれた あんこもち
いつつ いんきよの かぶれもち
むつつ むこさま みやげもち
ななつ ななくさ ぞうにもち
やつつ やろこの てっぽもち
ここのつ こぞうの まるめもち
とおで とつつあん たっぽもち

*お手玉を使うもの

◆てんやのおもち

てんやのおもち やあらかいおもち
あんこ ちょいとふんで しかられた

*季節に関係なくいつでもできるもの

◆ちょっと ばあさん

ちょっと ばあさん
おにぎり ちょうだい
かみに つつんで
おにぎり ちょうだい

【参考文献】

「こまった時はわらべうた うれしい時もわらべうた」（ひとなる書房）
「幼稚園・保育園のわらべうたあそび秋冬」（明治図書）
「いっしょにあそぼうわらべうた 3・4歳児クラス編」（コダーイ芸術教育研究所）

遠藤先生の講座で、受講者から「今、未就学児クラスを担当していて、ぐずる子も多いので、スキンシップやコミュニケーションで活用してみようと思います。」との感想をお聞きしました。わらべうたは、園児とのアタッチメント形成でとても有効なあそびと言えます。相手の呼吸に合わせて目を見て遊びを進めることができ、応答的關係が育ちやすいあそびです。ぜひ、園内研修に取り入れていただき、保育の引き出しを増やしてみてもはいかがでしょうか。（専門員）